

8. 空間構成



施設全体を眺めるテラス

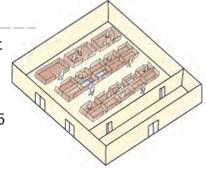
避難時はペットと共に過ごせる広い空間。

中庭がよく見える渡り廊下

屋外空間で広々と開放的な廊下。スロープが掛かっているため誰でも通ることが出来る。中庭の様子がよく見えてイベントの空気感を感じられる。

一般避難所にもなる大ホール・体育ホール

通常時のイベントや講演会では約200人が利用できる地域活動の拠点となる大きなホール。
災害時は主に一般避難者が利用。
1人当たり4㎡を基準に避難スペースを振り分け、1ホールあたり約35人が避難スペースを確保できる。2～3人家族は8㎡を基準にする。



みんなと過ごす図書スペース

吹き抜けを作ることで、どこにいてもみんなと同じ空間を過ごしているような感覚に。テラスや大きなガラスからは光がたっぷり差し込み、施設の全体を見回すことができる。

地域活動の中心となるフロア

教室とほぼ同じ大きさの部屋をそれぞれ配置。災害時には避難所に必要な本部や教護室として利用される。

みんなと過ごす食堂

日光の差し込む明るい空間で楽しく過ごせる。大人数で座ることのできる席からカウンターも設置しているため、その日の気分やスタイルのよって場所を変えることができる。

テラス

日光を浴びることができ、ゆったりと休憩できる。

全フロアにかかる緩やかなスロープ

全ての人が施設に入ることができるように緩く長いスロープ。車いすでも安心して避難できる。

イベントで賑やかな中庭

定期的に行われる地域のマルシェや、キッチンカーが入れて賑やかな時間を過ごせる。外から入ってきた時にも見えてワクワクする。



9. 平面図 S=1/500

